

田村芳朗先生 略年譜 (法華宗関係)

大正 十年 四月十一日、大阪に生まれる。

編纂に参加。

昭和 十八年 九月、第三高等学校文科乙類卒業。十

同 二十八年 三月一日、叙大講師。

月十三日、宮内日大師のもとで得度、

同 二十九年 三月、東京大学文学部印度哲学梵文学

僧名完勝。十月、東京大学文学部印度

同 三十一年 科大学院(旧制)修了。

哲学梵文学科入学。十二月、応召入隊。

同 三十一年 四月、東洋大学文学部助教授。

同 十九年 四月一日、叙権大講師。

同 三十一年 十月十日、十二月、東海教区教学講習

同 二十一年 十月、復員・復学。

同 三十一年 会(光長寺)講師。

同 二十四年 三月、東京大学文学部を卒業し、文学

同 三十三年 八月二十五日、桂林同学会復活第一回

部大学院(旧制)入学。三月十二日、

同 三十三年 総会(光長寺)参加。九月二十八日、

千葉県浄教寺任職就任。十二月二十五

同 三十四年 三十日、千葉教区講習会(藻原獅子吼

日、本能寺に於ける学究青年僧の懇談

同 三十四年 教会)講師。

会に参加。

同 三十四年 八月二十四日、二十六日、桂林同学会

同 二十五年 五月、桂林同学会が結成され会員とな

同 三十四年 第二回総会(本興寺)参加。

る。

同 三十四年 十月一日、東海教区寺庭婦人会(光長

同 二十七年 四月、東洋大学文学部非常勤講師。十

同 三十四年 寺)講師。十月十五日、十七日、大阪

月一日発行の同学会編『信仰のしるべ』

同 三十四年 教区教学講習会(藤井寺)講師。

同 三十五年 十月三日、五日、東京教区教学講習会

(獅子吼教会) 講師。

同 三十六年 十月七日、九日、千葉教区教学講習会

(鷲山寺) 講師。

同 三十七年 二月二十日、『鎌倉新仏教の研究』に

より文学博士の学位を受く。五月十八日、本能寺において祝賀会が開かれ、宗門から奨学金を受く。八月二十八日、

第五回桂林同学会総会にて記念講演。

同 三十八年 六月一日、桂林同学会をもとに法華宗

教学研究が設置され、研究所員となる。同日、叙権僧都。十月三日、五日、

東京教区教学講習会(宗務院) 講師。

同 三十九年 十月八日、十日、大阪教区教学講習会

(本涌寺) 講師。

同 四十年 六月一日、叙僧都。

同 四十年 四月、東洋大学文学部教授、六月一日、

叙権大僧都。八月一日、叙大僧都。十

月五日、七日、東京教区教学講習会

(宗務院) 講師。

同 四十五年 四月一日、東洋大学文学部長、(昭和

四十六年三月迄) 同日、叙権僧正。

同 四十七年 四月、東洋大学文学部教授、八月二十

八日、叙僧正。

同 四十八年 六月一日、教学審議会委員。

同 五十年 十月十日、十二日、東海教区教学講習

会(光長寺) 講師。

同 五十一年 八月二十七日、二十八日、京都教区教

学講習会(本能寺) 講師。

同 五十二年 六月一日、教学審議会委員。

同 五十三年 八月二十八日、三十日、第一回教区布

教師研修会(本能寺) 講師。『現代に

おける布教理論』

同 五十四年 四月一日、叙権大僧正、同日、四国教

区信徒大会(高松市玉藻城披雲閣) 講

師。

同 五十五年 十一月十五日、淡路教区信徒大会（妙

京寺）講師。『法華経と日蓮聖人』

同 五十六年 四月四日、大本山本能寺宗祖七百遠忌

法要記念講演。

六月一日、教学審議会委員。八月二十

九日（三十一日）、東海教区教学講習会

（光長寺）講師。

十月十七日、九州地区信徒大会（城山

観光ホテル）講師。『日蓮聖人と法華

経』

同 五十七年 四月一日、東京大学文学部教授定年退

職。同日、立正大学仏教学部教授。

同 五十八年 五月二十九日、中国教区信徒大会（広

島平和公園）講師。『日蓮大聖人と世

界平和』

同 六十年 三月十三日、依願免浄教寺住職。

六月一日、教学審議会委員。

同 六十一年 四月二十九日、紫綬褒賞受賞。

同 六十二年 十月二十日、東京大学名誉教授。

十一月二十六日、第一回法華宗教学研究

発表大会（尼崎市サンシビック会議

室）聴講。

同 六十三年 三月二十四日、第三十五次教学審議会

出席。

平成 元年 三月二十日遷化、享年六十八歳。正五

位勲三等瑞宝章を贈らる。